

岐阜県中小企業団体中央会
会長 傍島 茂夫 様

拝啓

日頃から、労働行政及び岐阜県行政につきまして、格別の御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。

また、新規高等学校、特別支援学校卒業者の就職につきましては、種々の御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本県の令和6年3月新規高等学校卒業者の就職内定率は99.8%でした。また、特別支援学校高等部卒業者の就職内定率は93.2%でした。このことは、貴殿をはじめ、経済団体各位の御協力の賜物と深く感謝申し上げます。

本年度につきましても、まもなく高等学校等卒業予定者への求人活動が始まりますが、まだまだ新たな職場や職域の開拓を急務とする地域や学校もあります。また、特別支援学校高等部卒業者については、一般就労を望んでいたにもかかわらず障がいにより断念せざるを得なかった生徒も一定数いることが課題となっております。加えて、改善傾向ではありますが岐阜県の高校生の卒業後3年以内離職率が35.3%であることなど、社会的にも経済的にも憂慮すべき課題も一部残されております。望ましい勤労観・職業観を育むため、これまで進めてきたキャリア教育を一層充実させるよう、現実的な理解を深める貴重な機会となるインターンシップ等就業に関わる体験活動の推進を図っているところであり、今年度もインターンシップの受入れに関して、御理解と御協力をお願い申し上げます。

本年度、企業からの新規高等学校等卒業予定者の求人申込みは6月3日からハローワークで受付け、7月1日から求人票を企業から各学校に送付することとなっておりますが、学校においては9月5日からの応募・推薦に向けて、送付された求人票をもとに夏休み中に応募先の決定を行う予定です。そのため、夏休み前の早い時期にハローワークに求人申込みをいただければ、多くの生徒に情報を提供することが可能であり、より幅広い生徒の応募が期待されるとともに、生徒も多くの求人の中から、より一層自己の適性に合った応募先を決めることができます。岐阜県の将来を担う優秀な生徒が、一人でも多く岐阜県内で働く機会を得られるよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

これから新たに社会にはばたこうとする新規高等学校、特別支援学校卒業予定者の期待に応えた幅広い職業選択の機会をいただけますよう、引き続き採用枠の確保・拡大並びに夏休み前までの早い段階でのハローワークへの求人申込み及び学校への求人提出につきまして、格別の御理解を賜りますとともに、生徒が県内の産業や企業についての理解を深め、就労を体験できるインターンシップの機会を提供いただきますよう、貴団体傘下の会員企業等にも、この旨御周知くださいますようお願い申し上げます。

敬具

令和6年5月

岐阜労働局職業安定部長	服 部 匡 祥
岐阜県商工労働部長	兼 松 伸 和
岐阜県教育委員会教育長	堀 貴 雄